令和４年度　学校経営計画・自己評価書

足立区立大谷田小学校
校長　菅原　秀道

１　学校教育目標

○よく考える子　　○心豊かな子　　○たくましい子

２　めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○皆の人権が守られ、生き生きと生活できる安全・安心な学校 ○確かな学力と豊かな心、健やかな体を本気で育てる学校 ○保護者・地域と連携を深め、信頼される学校
○児童・生徒像	○自ら考え、自ら学び、チャレンジする子 ○あいさつをきちんとし、誰に対してもやさしく思いやりのある子 ○すすんで体を動かし、心身ともに健康でたくましい子
○教師像	○子どもの人権を守り、共に汗を流し、喜びや悲しみを分かち合う教師 ○日々の授業の充実を目指してチャレンジする教師 ○組織（チーム大谷田）の一員として、情報共有と共通実践、協働に努める教師

３　学校の現状及び前年度の成果と課題

〈　現　状　〉

○児童数305名、学級数11（第4学年が単級）。児童は明るく素直で、学習態度、生活態度とも落ち着いている。コロナ禍における生活様式の徹底や集団行動は定着している。読書習慣を身に付けた児童も多く、内遊びの休み時間や授業の隙間時間に読書を楽しんでいる。1人１台のタブレット端末が整備され、学年に応じた指導計画の基で操作を身に付けている。「あいさつ日本一」を掲げているが、自分からすすんでできる児童はまだ多くはない。
○本校初任または6年未満の教員が17人中8人である。指導力の向上や授業の充実（改善）に一人一人が努めるとともに、「情報共有」「共通行動（実践）」を皆で心がけることにより組織として力を高めていく。
○コミュニティースクール通算10年目となる。

〈　前年度の成果と課題　〉

○1人1台のタブレット端末が整い、教員の授業改善と同時に児童の学習改善を進められたことが最大の成果と考える。活用は主に検索や個別のまとめ、ドリル学習である。今後は「より効果的・効率的」をキーワードにして協働学習等への活用を推進していきたい。
○足立スタンダード（授業）は全教員が理解し、実践に努めている。特に「めあて」を児童と共につくり、確認することは、児童自身に授業のゴールを意識付けることになり主体的な学習の推進につながった。また、「振り返り」の際もめあて（ゴール）を再認識させることにより児童自身の学習改善への意識付けを図ることができた。
○コロナ感染拡大に伴う対策のために放課後補充学習を十分に実施できなかった。1人1台のタブレット端末に加え、今後はAIドリルを補充学習に活用していく。
○2年度には実施できなかった小中連携の授業研究を今年度は複数回実施できた。対面せずにオンラインでの協議も行えたので、情勢に応じた方法で研究を推進したい。
○挨拶の取組については感染対策のため計画したことを実施できる機会が限定された。特に児童主体の活動については児童の発想で工夫していく。

4　重点的な取組事項

	内　　容	実施期間（年度）　R:令和				
		R2	R3	R4	R5	R6
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	体力向上	○	○	○	○	○
3	心の醸成（規範意識・自己肯定感の向上・いじめ暴力暴言の根絶）	○	○	○	○	○
4	保護者・地域との連携協力による教育活動の充実	○	○	○	○	○

5　令和３年度の重点目標

重点的な取組事項－１	学力向上アクションプラン

Ａ　今年度の成果目標	達成基準 （目標通過率）	実施結果 （通過率結果）	コメント・課題	達成度 ◎○△●
年度中の調査目標値通過率を 国語・算数とも学校８５％以上	①令和４年度区調査 ②２月到達度確認調査 ①　②通過率８５％以上		年度末に記入	

Ｂ　目標実現に向けた取組み

新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 （誰が、何を、どのように）	達成確認 方法	達成目標 （＝数値） （いつ・何を・どの程度）	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
新規	AI ドリル	全学年 ５教科	通年	放課後補充学習で活用 宿題や家庭学習として活用	毎月のデータ確認 単元末テスト	利用率 100% 単元テスト目標点（基準点）通過率 90%	年度末に記入		
新規	校内研究	全教員	通年 月１回	目指す児童像に迫るための授業研究を全教員で行う。学年やテーマ毎に分かれた分科会を設定する。	授業観察 （年３回）	具体的な成果と課題の分析	年度末に記入		
継続	授業改善	経験５年未満の教員	通年	授業スタンダードの定着 （めあて、振り返り、板書） 指導と評価の一体化を実践」	週案 管理職や教科指導専門員による授業観察	年度末までに理解と実践 100%	年度末に記入		

継続	ICT 活用	全学年 全教科	通年	授業内での端末活用① （検索・資料作成・ドリル） 端末活用② （協働学習など）	週案 授業観察 （週１回）	全児童が①②の活用力を習	年度末に記入		
継続	読書活動	全学年	通年	学級文庫の設置 いつも本が手元にある教室 記録用個別カード 図書館支援員の活用と図書ボランティアの協力	記録用個別カード	達成率 60% 1 年 100 冊 2 年 2000 ﾍﾟｰｼﾞ 3 年 2000 ﾍﾟｰｼﾞ 4 年以上 3000 ﾍﾟｰｼﾞ	年度末に記入		
継続	夏休み 補充教室	各学年 若干名 国算	夏休み 10 日間	水泳指導と重ならない時間に設定。理解不十分な単元補充	夏休み明け、ワークテスト実施	ワークテストで正答率向上	年度末に記入		
継続	家庭学習の定着	全学年	通年	目安の周知：１５分×学年 家庭学習カード 自主学習ノートの指導 AI ドリル学習	左記カード 学校評価	定着率 下学年 70% 上学年 80%	年度末に記入		

重点的な取組事項－２	体力向上

Ａ　今年度の成果目標	**達成基準**	**実施結果**	**コメント・課題**	**達成度**
全国体力調査８種目の結果について都平均を超える	都平均を超える種目を３年度結果よりも増やす（重点種目：投力）	年度末に記入		

Ｂ 目標実現に向けた取組み

項目	**達成基準**	**具体的な方策**	**実施結果**	**コメント・課題**	**達成度**
基礎体力の向上	全国体力調査８種目の都平均以上の種目を保持増進する。	体育指導の充実（年間計画に基づく授業実践） 縄跳びカード、投力強化、持久力強化実践 スポーツ指導ボランティア 休み時間の活用（場の工夫）	年度末に記入		

生活習慣の確立 学校保健行動計画の実施	学校評価 「よい」85%以上	休業日明け「元気カード」 保健便りの活用、学級指導 健康に関する講演会実施１回 コロナ感染症予防の徹底 虫歯治癒率の向上（80%）	年度末に記入		
食への自己管理能力の向上	残菜率　1%以内 農園活動の実施 （２～４年）	給食便りの活用、学級指導 糖尿病予防の知識を身に付け、簡単な調理をさせる。 なるなる農園での体験活動 学校園での栽培活動	年度末に記入		

重点的な取組事項－３	心の醸成（規範意識・自己肯定感の向上・いじめ暴力暴言の根絶）

Ａ　今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
他人を思いやる気持ちや共に助け合って生きようとする態度の育成	学校評価９０%以上	年度末に記入		

Ｂ 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
規律の徹底 よい子のきまり 授業規律	教職員による評価 「よい」85%以上	・看護日誌、生活指導朝会 ・全教科授業を通して指導 ・教職員による評価	年度末に記入		
いじめの根絶 いじめをしない、許さない心	・いじめの解消率 100% ・学校評価 「よい」90%以上 ・必ず取り組む 18 項目の実施	・年３回のアンケート調査 ・迅速な校内委員会による対応及び継続指導の実施。 ・基本方針の周知（6 月まで）	年度末に記入		
異文化理解、障がい者理解を進める	・学校評価 「よい」90%以上	・外部講師による授業（障がい者理解）助け合って生きる態度を身に付けさせる	年度末に記入		
特別支援教室との連携	・特別支援を要する児童の安定した学校生活	・教育相談の一層の充実 ・月１回の校内委員会実施 ・学期ごとに研修会 ・週１回の情報交換	年度末に記入		

重点的な取組事項－４	保護者・地域との連携協力による教育活動の充実

Ａ　今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者、地域人材との連携　あいさつの習慣化（CS 重点目標）	・学校評価「よい」85%以上	年度末に記入		

Ｂ 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
あいさつの習慣化（CS 重点目標）	・学校評価「よい」85%以上	・児童会あいさつ運動の継続 ・情報の発信の強化	年度末に記入		
交通安全防災支援 ・交通安全ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ ・避難所運営	・毎日の登下校の見守り ・交通事故ゼロ ・災害時円滑な避難所運営	・交通安全に関する安全教育 ・教員とﾎﾞﾗﾝﾃｨｱと保護者の三位一体の見守り（通年） ・地域防災との連携マニュアル	年度末に記入		
園芸支援 ・なるなる農園ボランティア	・生活科、総合的な学習の時間の中で計画実施 5 月：サツマイモ苗 6 月：ジャガイモ収穫 10 月：サツマイモ収穫 3 月：ジャガイモ種芋	・なるなる農園の維持管理 ・花壇、ビオトープ等の保全	年度末に記入		
図書支援 ・図書ボランティア	・各学年読書目標の達成 ・図書支援員の活用 ・ボランティアとの連携	・読書カードの継続 ・調べる子を育てる環境づくり（図書室内・教室内）	年度末に記入		
学習支援 ・学習支援ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ ・スポーツﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	・外部講師の活用 ・ボランティアとの連携	・基礎学力向上の支援、学習環境の整備、ESD 教育の推進 ・学生ボランティアの活用	年度末に記入		